

吹奏太郎



- ◆東関東アンサンブルコンテスト結果一覧
- ◆リーダー講習会アンケート
- ◆コンサートカレンダー 4月～6月

可能的存在としての自覚を …生徒の皆さんへ…

橋本崇文音楽造形理事長 手塚 重

「点滴 石を穿つ」という言葉が、今年のリーダー講習会の挨拶のテーマでした。

これは、葎屋根の葎を伝って落ちる一粒一粒の雨垂れの力は、手にとっても痛くも痒くもない微々たるものであっても、それが絶え間なく永い歳月を積み重ねることによって、下に敷いてある硬い石に穴をあけるというお話です。

何事であれ、初めから上手な人はいないし、最初からうまくゆくことはないでしょう。「上手」と言われる程になることはたいへんなことです。しかし、「上手」になることは至難のことでも、「上手になろう」とすることは、誰にでもできることです。



新しい学年がスタートしました。先生のお話に全身を耳にして応え、リーダーを核にしっかりとスクラムを組み、共通の目標に向かって休むことなく精進してください。

みなさんは、チルチル・ミチルが青い鳥を探すお話を知っていると思います。この話は理想(もっと上の世界=音)を求めて努力し、やっとそこに到達した時には、理想は現実の(音くない)ものになってしまうと言っているのです。

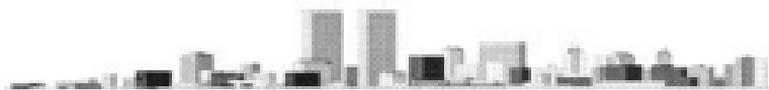
しかし、人は新しく現実となったかつての理想を踏まえ、次なる理想を追求する線を続ける動物であるのです。そこにこそ人の人たる価値があると思います。

(哲学的には、人は現実=ザインに在って常に理想=ゾルレンを求める動物であり、次々と進展する力を内に秘めたる存在であり、その力を内的根源性と言い、その力の存在ゆえに「可能的存在」と言われている。)

皆さんの体の中には、永遠に伸び続ける限りない力が内在しているのです。その「伸び続ける力」を信じましょう。それなくしては、学習も教育も根元的な意味を失ってしまうでしょう。この考え方は、すべての基本です。石を如に砕いて水をやっても芽は出ません。それは石には芽を出す力が内在していないということなのです。



皆さんは、永遠に伸びていく皆さんの体の中に内在する力を信じ、それを音楽への学習にも生かしてください。きっと、真に人を感動させ得る音楽が創造されると思いますし、それを期待したいと思います。



《東関東アンサンブルコンテスト》

1/26(日) 於 神奈川県民ホール

東関東アンサンブルコンテストが去る1月26日(日)に、神奈川県民ホールに於いて盛大に開催されました。本県からの代表グループは各部門において素晴らしい演奏を聞かせ、会場からの大きな喝采を浴びていました。

特に、一般の部においてはユーフォニウム・チューバ四重奏の「F-Clef」が金賞を獲得し、昨年に続いて全国大会出場を果たしました。この広報誌が属く頃には、「F-Clef」の全国大会での活躍が話題になっていることでしょう。

※ ()数字→プログラムNo

◎小学校の部

- | | | |
|------------------|---------|------|
| (1) 栃木市立大宮北小学校 | (Per.8) | 金賞 |
| (2) 真岡市立真岡小学校 | (Per.8) | 金賞 |
| (15) 宇都宮市立清原東小学校 | (金管8) | 金賞 |
| (23) 宇都宮市立五代小学校 | (金管5) | 金賞 |
| (24) 宇都宮市立五代小学校 | (金管4) | 銀賞 |
| (25) 真岡市立真岡小学校 | (木打8) | over |

◎大学の部

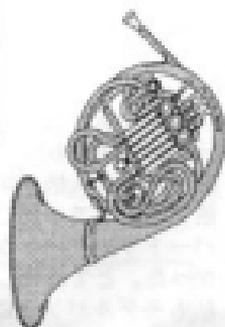
- | | | |
|----------------------|-------|----|
| (4) 宇都宮大学 | (金管8) | 銅賞 |
| (8) 國學院大学栃木短期大学内探研究会 | (金管8) | 銀賞 |

◎中学校の部

- | | | |
|-----------------|---------|----|
| (1) 宇都宮市立委川中学校 | (Per.6) | 銀賞 |
| (8) 真岡市立真岡東中学校 | (Sax.4) | 銅賞 |
| (11) 益子町立益子中学校 | (Sax.4) | 銅賞 |
| (12) 宇都宮市立陽西中学校 | (Sax.4) | 銀賞 |
| (23) 鹿沼市立東中学校 | (金管8) | 銅賞 |
| (24) 益子町立益子中学校 | (金管8) | 銅賞 |
| (29) 宇都宮市立陽西中学校 | (金管8) | 銀賞 |
| (31) 宇都宮市立鬼怒中学校 | (金管6) | 銅賞 |

◎高等学校の部

- | | | |
|--------------------|-----------|----|
| (3) 県立宇都宮南高等学校 | (Per.7) | 銀賞 |
| (9) 県立石橋高等学校 | (Cl.Ch.8) | 金賞 |
| (12) 県立宇都宮中央女子高等学校 | (Cl.8) | 銅賞 |
| (14) 県立宇都宮南高等学校 | (Cl.8) | 銀賞 |
| (15) 県立宇都宮北高等学校 | (Cl.8) | 銀賞 |
| (30) 県立宇都宮南高等学校 | (金管8) | 銅賞 |
| (32) 県立宇都宮北高等学校 | (金管8) | 銅賞 |
| (33) 県立石橋高等学校 | (金管8) | 銅賞 |



◎一般の部

- | | | |
|---------------------|-------------|--------|
| (10) クオドリフォリオ | (Cl.4) | 銀賞 |
| (14) ゼレンフォルクスホルクスター | (Cl.4) | 銅賞 |
| (15) アンサンブル・ヴェリテ | (Cl.4) | 銀賞 |
| (16) サウンド ウィズ | (Fl.6) | 銅賞 |
| (23) 今市ウインドアンサンブル | (金管8) | 銅賞 |
| (24) サウンド ウィズ | (金管8) | 金賞 |
| (29) F-Clef | (Eup.Tab.4) | 金賞(代表) |



1 平成14年度栃吹連各種活動への感想、意見

○栃木県吹奏楽コンクール(H14 7/28～8/7 宇都宮市文化会館)

- ・他校の演奏を聞いたり、審査員からいろいろなアドバイスをもらえてとても勉強になった。(中高 同様 6)
- ・とても良い思い出になった。A部門にもっと参加校が増えると良いと思う。(高)
- ・ピアノの使用の際の位置について、東関東大会と同じ条件にしていきたい。(教)

○栃木県マーチングフェスティバル(H14 8/23 足利市民体育館)

- ・参加校が年々少なくなって寂しいが、ある意味では当然のこと。少子化が進む時代に吹奏楽とマーチングを一つの団体で両立するのは至難の業。両立している学校はその状況を教えて欲しい。吹奏楽連盟でマーチングに取り組むこと自体、そもそも無理あるのではないか。(教)

○栃木県アンサンブルコンテスト(H14 12/22～12/23 栃木市文化会館)

- ・高校の部が小ホールでとてもせまくて不便だった。客席も少なく困った。来年は是非大ホールにして欲しい。(高 同様 23)
- ・会場が狭くて、演奏中に係の人の声や楽器を移動している時の音が聞こえてきたのは不快だった。小ホールはいろいろな面で効率が悪いと思った。(高 同様 6)

○栃木県ソロコンテスト(H15 1/11 宇都宮市文化会館)

- ・高校生については他の行事と重なった。関係諸機関と連絡調整をお願いしたい。(教)
- ・3年生になっても出たいので1学期にやって欲しい。(高)

2 今回のリーダー講習会についての感想、意見

- ・リーダー講習会がこんなにもおもしろいとは思っていなかった。高校生バンドではパフォーマンスが見られて楽しかった。また他校の悩みなども聞いて良かった。(中高 同様 22)
- ・佐藤先生の人柄が明るく、楽しい講習になって良かった。常に自己評価させるのは、部活でも授業でも同じであるし、益々勉強しなくてはと思った。(教)
- ・パートリーダーとかしか来られなかったのが残念。もっと多くの人に参加してもらいたかった。とても楽しく充実した講習会だった。(高 同様 24)
- ・私もモデルバンドに出たかったなあと思った。来年は人数の枠を(モデルバンドの)いっぱい増やしてあげて欲しい。(高 同様 12)
- ・高校生の演奏を聞くのは初めてでとても感動した。また、友だちもたくさんできてとても良かった。勉強したことを自分の学校で生かしていきたい。(中 同様 18)
- ・中学生も宿泊できると良かった。(中)
- ・参加費に加えて資料費の設定が高すぎる。昨年までの金額でもそう感じていたが、会場使用料等の必要経費は連盟で負担していただきたい。(教 同様 2)
- ・参加校が年々少なくなってきていると感じる。時には別な企画も良いと思う。今回の午後は特に時間も短く内容も貧弱であった。しかし、モデルバンドに参加した生徒にとっては、素晴らしい貴重な体験であったと思う。(教、高に同様 2)
- ・資料の中に去年と同じページがあっただけ良かった。また、楽譜のコピーなどの資料はもっと欲しい。資料代の1000円は高いと思った。(高 同様 3)
- ・モデルバンド良かったが、それより普通の基礎練習や合奏練習の風景が見たかった。(高)
- ・グループワークは椅子がじゃままで話しづらかったようだ。別な場所が良い。昨年もアンケートで同じ意見があった筈だが、改善されていない。(教、高に同様 2)

足利支部

♪ 足利支部だより ♪

去る2月16日(日)、足利市民プラザ文化ホールにて第18回ウインド・アンサンブルフェスティバルが開催されました。参加者は市内の小・中学生、高校生、大学生、一般と幅広い年齢層にわたり、アンサンブル部門・ブラスバンド部門を合わせて41団体出場という盛大なものとなりました。また、午前の部のラストには、ゲストとしてお招きしたアンサンブルシルフの皆さんによる木管三重奏のミニコンサートもありました。

◀コンサートを聴いた生徒からの声▶

プログラムには3人しか名前がなくて、正直なところ、本当に3人で曲ができるのかなあ?と思いました。でも、曲が始まると、とても木管らしい、優しい感じでした。優しいだけではなく、ときどき、力強く、とてもカッコいい感じもしました。特に、ファゴットがすごくよかったです。私も低音の楽器なので思うのですが、下から他の人を支えるのは、とても大変だと思うんです。でも、アンサンブルシルフさんのファゴットは、支えるだけでなく、他の人のことも考えてすごいです。私も見習いたいです。

宇都宮・河内支部

みなさんこんにちは!

コンクールも一段落して、それぞれの学校では来年度に向けて、目標を持って日々練習に取り組んでいることと思います。今回は、本校の部長に来年度に向けての抱負を聞いてみました。

【旭中学校吹奏楽部について】

宇都宮市立旭中学校吹奏楽部長 2年 小室 紗織

こんにちは。旭中学校吹奏楽部です。今、旭中の吹奏楽部で頑張っていることは、「基礎を固めること」です。夏のコンクールに向け、部員全員で頑張っています。今年の夏に向けての目標は、「東関東大会出場」です。昨年、金賞を受賞したものの、残念ながら東関東には行くことができませんでした。今年こそは、次の大会へと駒を進めたいと思います。今、部長として大事な事は、みんなをまとめることです。一人一人みんな違う人間、それをまとめて一つの音楽をつくる。大変だけどそこを成し遂げてこそ部長だと思っています。そして、来年度の一年生をたくさん入部させることにも力を入れています。そのためにも、まず今から良い雰囲気を作りたいと思います。顧問の先生のもと、確実に一步一步前進して行きたいと思っています。

上都賀支部だより



10人以上いた6年生が引退し、音楽室の部員密度が低くなりました。それを見るにつけて寂しい気持ちと、来年度何人部員が入ってくるのかを期待する気持ちがわき上がってきます。

さて、楽器がうまくなりたい、よい成績を収めたいなどの願う気持ちには強い弱い差はあるものの誰もが持っているものだと思います。その願うという気持ちを常にあたためその方向に向かって毎日努力できるかが大切なのかなと思った一年でした。

中学校に行ってもブラスバンド部に入って楽器を続けたいという子が何人かいます。さらに、たくさんの音楽経験を通して、感受性を育て、友達を増やし音楽がこれから先の人生のスパイスとなることを願っています。

芳賀・真岡支部

中学生の活躍から ～私の麻都で練習！～

1月26日(日)に横浜で行われた東関東吹奏楽コンテスト、3月2日(日)に新宿で行われるソロコンテストに出場する生徒のみなさんに関してみました。

ソロコンテストに参画して

真岡東中 3年 伊藤 未来

昨年に引き続きソロコンテストに出場して、私は改めてこの大会のレベルの高さに驚きました。一生懸命練習してだれにも負けない演奏をしたはずなのに、客席で他の人の演奏を聴いていると自分の演奏がひどく貧弱なものに感じるのです。「もっと練習しておけばよかった。」表彰式の時、私はそんな思いでいっぱいでした。

しかし、結果は金賞で、関東支部大会に推薦していただくことができました。でも「もっと練習しておけばよかった。」という気持ちは変わりません。関東支部大会では、後悔しないように練習し、自分のできる精一杯の演奏ができるようがんばりたいと思います。



東関東吹奏楽コンテストに参加して

真岡東中 3年 古澤加奈子
3年 宮田真梨恵

県アンサンブルコンテストに出場し、思いがけず単代表となって東関東大会という大きな舞台で演奏することができ、とても勉強になりました。一昨年、東関東大会に出場した時も思いましたが、東関東のレベルはとても高く、私たちの演奏はまだ未熟であると思知らされました。また、他校のすばらしい演奏も聴くことができ、音楽に対する興味関心がさらに深まりました。

今後、音楽を勉強していく中で、東関東大会で学んだことを生かし、より高い音楽性を目指していきたいと思っています。

下都賀小山地区 活動紹介

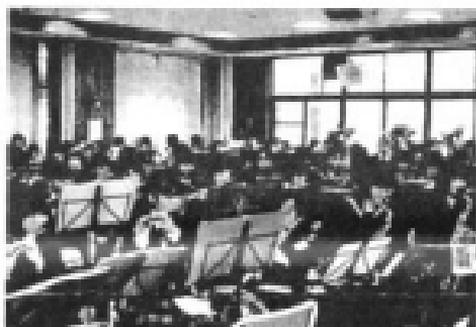
第18回小山地区バンドフェスティバル

3月16日(日) 小山市文化センター 大ホール

小山地区では毎年7月と3月にフェスティバルを行っています。

3月のフェスティバルでは、各中学校の2年生による合同演奏があり、今年はタイケ作曲「旧友」 ベルト・アッベルモント作曲「ガリバー旅行記」に取り組んでいます。各校で譜読みを進め、2月15日(土)3月1日(土)9日(日)の3回の合同練習で曲を仕上げるのは容易なことではありません。しかし、総勢150名による練習は、

- 「友達がたくさんできて新しいことや他の学校のよさに気づいた」
- 「周りの人が身体を使って歌って演奏しているので自分も歌い方がわかった」
- 「自分が吹いていないときの曲の聴き方、勉強の仕方がわかった」
- 「打楽器では学校によって少し楽器の使い方が違い、勉強になる」
- 「人数が多いからなおさらあいさつ・返事の大切さがわかった」等



生徒たちの吸収力や集中した練習に感心させられます。指導は毎年 宇都宮音楽集団、仙台吹奏楽団、ソノリテ甲府吹奏楽団 常任指揮者 鈴木 太志先生にお願いしています。今年のフェスティバルの演奏は、栃木県吹奏楽連盟理事長 手塚 豊 先生が、指揮をとってくださることになっており、いまから楽しみです。

合同演奏、合同練習ができるのも会場校として快く場所を提供して下さる乙女中学校のおかげでもあります。今年も会場いっぱいに来年度を背負う2年生たちの熱気あふれる演奏がくり広げられることでしょう。

栃木県立石橋高等学校 第2回東日本学校吹奏楽大会に参加して

石橋高校吹奏楽部は、昨年10月13日仙台市で行われた東日本大会に出場しました。しかし、この大きな舞台で演奏できるとは夢にも思っていないくらいです。なぜなら顧問の栗田芳子先生がご病気のため不在という厳しい条件下での部活動だったからです。練習時間もあまりとれず、生徒だけの活動は不安でいっぱいでした。そんな中4月から非常勤講師として来てくださった栗田智水先生のご存在は、救世主ともいえるべき心強いものでした。熱心にご指導くださっただけでなく、昨年行われたすべての大会で指揮をしてくださりました。夏日本大会に出場できたのも、智水先生のお力によるところが大きいと思います。また「GR」という曲に出会えたことも幸運でした。感動を伝えたいという私たちの気持ちを表現できたと思います。この大会出場を通し、多くのことを学ぶことができました。それらを活かしながら、「心に響く音楽」を目指して頑張っていきたいです。

(2年 梅澤 夏来)

小山県立小山第三中学校

3年生が引退してしまい、今は私たち2年生が部活の中心となって三中吹奏楽部を盛り上げています。文化祭や運動会は3年生がいてくださったため大成功に終わりました。運動会では突然の雨に見舞われ、楽器の中に水がたまってしまいました。出してみるとバケツにいっぱいになるくらいでした。とても大変でしたが良い思い出となりました。先日、陸上自衛隊の演奏会がありました。すばらしい演奏を聴かせていただいたうえに、講習会も開いていただきました。内容はパート別に違いますが、とてもわかりやすく、ためになりました。我々2年生は3月に行われる演奏会で、小山地区の2年生合同演奏があるので、その練習をしています。そしてまだまだ先のことになりますが、夏の大会では、聞いている人が感動で涙するような良い演奏をしたいです。団結力を武器に、目指すは東関東大会！がんばります!!

(部長 相馬 絵風)

塩谷・那須支部 Part 1 / 3

こんにちは！いよいよ年賀本ですが、習慣いかがお通じですか？
新年に引き継ぎ、アンケートの「目標の組みや疑問」について取り上げました。地区内で指導されているみなさんから、ご意見を伺いました。ちなみに、種目別にとまとめるころ、下のように合計20もの意見になりました。

(小学校)

- ① 通る日割で練習時間がかなり少なくなった。
- ② 経験のない者がチームになって活動していること。
- ③ 吹奏楽がよくなるからないのに顧問になってしまった。早く地域の活動になって欲しいと聞いている。
- ④ 練習時間の確保をどうしたらいいのだろうか？
- ⑤ 器具数が少ない。どう確保したらいいのだろうか？
- ⑥ 練習内容の充実にはどんな手立てがあるか？

(中学校)

- ⑦ 楽器で活動できる資金がない。楽器が買えない。修理代もほとんどない。
- ⑧ どう指導していいかわからない。
- ⑨ ロマではやる気があるようなことを言うが、行動が伴っていない生徒の指導。
- ⑩ 生徒自身が顧問の工夫がでない。
- ⑪ 少子化による部員の確保が難しい。一学年10名しかいない、1名もいない、2名もいない。
- ⑫ 短い時間での効果的な練習内容について教えて欲しい。
- ⑬ わかりやすい基礎練習の方法や使いやすいい教則本の紹介をお願いします。
- ⑭ 冬季中だからこそ練習メニューを教えて欲しい。

(高校)

- ⑮ 女子が多いため、過りが心配。そのため活動の終了時刻を早めなければならないので練習が短くなって聞いている。
- ⑯ 顧問なども忙かされてしまうので、短い中での練習がなかなか・・・
- ⑰ 3年生が引けたら現在部員は9人。ここ数年こういうサイクルになりつつある。
- ⑱ 部員の確保について。
- ⑲ 下校時間の関係で練習時間がなかなか確保できない。
- ⑳ 部活を積極的にやろうという生徒が少なくなってきた。

(一般)

- ㉑ メンバー不足。

♪ご意見♪

- ② 経験のない者がチーフになって活動していること。
 ●地域の人材を活用している。＝地域にサックスを吹いている人がいるので、週に1回ほど教えに来ていただいている。
 ●できれば、経験者がある程度考慮した人事になると良いのだが・・・
- ③ 教育費がよくわからないのに顧問になってしまった。早く地域の活動になって欲しいと思っている。
 ●僕の会にお願いで、予算を組んでもらい専門のトレーナーに来てもらっている。
 ●教育委員会などで、地域人材の活用などがあると思うので、学校長に相談して教育委員会などに働きかけてもらっても良いかも。
 ●顧問として、地域の活動になったとしても、学校を使う限り、指導はしなくても顧問学校には悪くはないのではないでしょうか？
- ④ 練習時間の確保をどうしたらいいのだろうか？
 ●確保できるだけの時間でできることをする。また、無理をしない。
 ●例えばおつかは出席しないなど。
 ●やれる範囲で活動するしかないと思う。しかし、どうしても活動したいのであれば、校長によく納得してもらい、特例を作っていくしかないのでは。
- ⑤ 練習費が足りない。どう確保したらいいのだろうか？
 ●与えられた範囲で最善を尽くすことが1番大切なので、人数が少ないことで悩んではいけないと思う。
 ●中学校は（近ければ）小学校と合同練習を学期に1・2回行って児童と顔をつなが、1中学校に入学したら入部してね」と声をかける。高校は中学校との練習会などで同じように「本校に入学したら一緒に活動しよう」と声をかける。
- ⑦ 満足に活動できる資金がない＝備品が買えない。修理代もほとんどない
 ●できる範囲でやるしかない。個人負担が増えてもやむを得ない。
 ●僕の会を作ってもらい、費用も集めて助けてもらっている。
 ●保護者会の充実。年度を超えた積み立てを行っている。また、グッズもとで町に予算請求をする。
 ●定期的にお礼を受けられることにより、生徒が楽器のよい状態がわかり、楽器を大切にできるようになった。また、その結果、修理代が少なくなった。
 ●とにかく、役員に交渉して修理代を出してもらおう。常に「修理代がない」と運営している。
 ●本校の楽器は大変古いので、修理をがんばらせてもかなりの金額がかかってしまう。来年度から部費の値上げや、今まで学校備品として扱っていたもの（キーボード・対話機）などから、考えていきたいと思っている。
 ●個人的に使う物（メトロノーム・チューナー・リード・練習曲集・楽譜用フック・お手入れ用品）は1年生時に自費で購入してもらっている。また、マウスピースもできるだけ個人で購入してもらおうようにしている。楽器が古いので、学校のものでは、ゆがんだりへこんだりしている物が多いので、「音」が出ずらいし「自分のもの」とと大事に扱う。部費は楽器代や小物楽器の代金に当てている。
- ⑧ どう指導してよいかわからない。
 ●練習をもって生徒に対応することが大切。どうしても立派な指導者になりたいのなら自費で学ぶこと。
 ●少しでもできる人、わかっている人とのつながりをもつ。以前学校に相談したところ、毎週1回、退職になった先生が練習を見に来てくれるよう教育委員会と話していた。（実際1年間活動した）
 ●学校の保護者で教えてくれる方に頼んでみる。
- ⑨ 口ではやる気があるようなことを言うが、行動が伴っていない生徒の指導。
 ●毎日活動日誌を書かせている。できれば一人一人にノートを書かせて提出させ、指導者がコメントを書いてあげるとよい。ちなみに、今は各パートの日誌を使って、毎日の練習でコメントや感想を書かせている。金額などで記録額を見に行けないので、この日誌を見て、明日の練習はどのような活動をすればよいのかコメントを書いたり、また、その日の記録額の様子もわかり、ためになっている。
 ●パートごとにも記録日誌を作っている。「3年日記」のように3年分が書けるようにノートを工夫し、過去の先輩達や自分の日誌を見ながら反省し、さらにこれからの活動意欲に役立てている。
 ●本校は、ほぼ毎月行事があるので、それに向けて企画・運営をしている。目的があると生徒自ら「がんばろう」という気持ちになり、活動していくようになっていく。

③ 生徒自らが練習の工夫ができない。

●活動のヒントをできる限り多く与える。それでもできない時は、生徒の能力とも関係があるので悩まなくても良いと思う。



●練習のステップを指示し、時々生徒相互、または教師による確認をしている。
例えば、ステール2オクターブ → 練習曲○○ → 「○○○」 (生徒が吹きたい曲)

●メトロノームを使ってメタジョンごとに合わせる。

④ 少子化による部員の確保が難しい。=現在10名しかいない、15名しかいない

=25名しかいない。

●少人数なりの活動があると関心を持って「暑よりも寒」を合い言葉に…。県のOJFでも、少人数でも素晴らしい演奏をしている学校があるので励みになる。

●コンクールで少人数部門があっても良いかも…。「大規模校がうまい」という傾向が固定しつつあるように思う。

●パートのバランスを考慮して少なくとも活動している。

●持ち替え楽器で演奏できるように楽譜を編曲する。

⑤ わかりやすい基礎練習の方法や使いやすい教則本の紹介をお願いします。

●「朗読」(全音出版) = 楽といわず、基本練習にまいりようだ。生徒は「わかりやすい」といっている。

●「ハーモニー感」を身につけるような練習をした方がよい。また、ハーモニー重視の曲を多く取り入れて、音程感を身につけさせるようにする。短い曲でも良い。

⑥ 各学中だからこそその練習メニューを練って欲しい

●基礎練習プラス、木管楽器・金管楽器のアンサンブル曲

●10分しかないときは、全員で安全に合わせて腹筋など体力作りにも励む。

●校舎を走っている。

●忙しいかもしれないが、校内ソロをアンサンブルやニコサートを企画。放課後は練習時間が短いうえ、生徒の能力によって力を生かすことができると思う。せっかく吹くので、聴いてもらいたいと思うし、聴いてくれる人がいるとなると、自分から練習も力が入る。指導する側も少しだが、個人レッスンで、個々の弱点なども見つけることもできるのだ。

⑦ 顧問なども切られてしまうので、寒い中での練習がなかなか・・・

●ひどいことだ。この寒い冬の活動にストップなしは考えられない。健康管理面から考えて読めないかもしれないが、ストップなしで活動している学校は皆無に近いはず。・・・できるだけ少ない人数でも1つの教室を使って練習させたいと思っただけ活動してきたが、冬半中は暖房費がかかるので、ある程度人数になるように練習場所を切り取って活動させている。使う教室の数が少ない方が、多少なりとも暖房費の節約にはなる？

⑧ 3年生が抜けたら現在部員は0人。ここ数年こういうサイクルになりつつある。

部員の確保について。

●新入生歓迎の演奏会を開き、入部をアピールする。

●役員募集のポスター掲示

●「経験者」という情報を仕入れて部員ともどもアタックする。

●

⑨ 部員を積極的にやろうという生徒が少なくなってきた。

●部員の意識や動機との両立にチャレンジする意欲をもち、意志を貫くことの大切さ・学習だけでは得られない経験などを、折にふれて積極として取り上げ、生徒同士でも考えさせるようにしている。教師の思い以上に生徒間での様々な意見や気持ちが出られているようだ。

本日は、生徒こそ懸命に自分たちの活動の位置を追い求めていると思う。

⑩・⑪・⑫・⑬・⑭まとめて・・・

●小・中・高での合同練習の実施。一般バンドによる各楽器の指導をしてもらったり合同マーチングバンドの結成。

★日頃の悩みが多かったのは「部員の確保」「練習及び指導方法」でした。他地区の皆さんもよろしかったら参考意見をいただけませんか？ 広報部までよろしくお願ひします。では、来年度もがんばっていきましょう！！

下都賀・橋本支部

日々の指導で思うこと

私は、生徒が卒業してからも、「自分は、楽器が吹けるんだ！」ということを思い出してくれたらいいな。という思いを込めながら、日々の指導にあたっています。(とはいっても、自分自身がまだまだ未熟なのですが・・・) これからの人生の中で、行き詰まった時・落ち込んだ時に、共に練習に励んだ仲間をふと思い出した。そんな時に、辛かった練習、そこから得た計り知れない感動をも思い出し、それら乗り越えて行って欲しいと思うのです。そして、時間と気持ちに少々のゆとりが出来た時に、「またやってみようかな～」なんて思ってくれたとしたら、こちらとしては本当に嬉しいことです。自分でさえ、「楽器ができるなんてすごいですね！」と人に褒められることがあります。そのくらい素敵なことなんですよ。

♪ 嘘か本当か、プロの演奏家の本番前のおまじない ♪

- ・舞台袖のドアを2回ノックする人
 - ・背中を叩かれたいと出ない人
 - ・ぶつぶつとおまじないを唱える人
 - ・左足からしか出ない人
 - ・眉毛の体操をする人
 - ・空手チョップの練習をする人
 - ・北の方角にひざまずく人
- などなど様々な秘策を駆使しているそうですよ！
もしかしたら、今年の吹奏楽コンクールの舞台袖でそんな光景が見られたりして・・・

安蘇・佐野支部

みなさん、こんにちは。平成14年度も残りわずかとなってきました。1年の締めくくりとともに、新チームへの引き継ぎなど、来年度に向けての準備を行っているところと思います。

今年度も、指導者講習会やスクールバンドフェスティバルなど、楽しくそして実り多い活動ができたように思います。チームワークの素晴らしい安蘇佐野支部ならではの活動を、これからも続けていきたいと思ひます。

来年度も「いい音」「いい音楽」めざして、がんばりましょう。

この支部だよりも、今年度の最終号となりました。快く原稿・情報をお寄せくださった皆様に感謝いたしますとともに、いつも締め切りに追われ、多方面にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。
(大伏小 頼竹)

日 曜	項 目	備 考
20 日	宇都宮ウインド・クルー 5周年記念コンサート	宇都宮市文化会館大ホール 14:00
29 火	宇都宮音楽集団第11回吹奏楽演奏会	県総合文化センターメインホール 14:00

4 日	第17回宇都宮北高等学校吹奏楽部定期演奏会	県総合文化センターメインホール 13:30
	栃木ホルンクラブ第9回定期演奏会	県総合文化センターサブホール 14:00
17 土	石橋町スプリングコンサート	橋町勤労者体育館 14:00 【石橋小学校、吉山小学校、石橋中学校、石橋高校、グリムウィンズ、町内の各校各団 体出演のコンサートです。】
24 土	栗田昌英フルートリサイタルin栃木2003	県総合文化センターサブホール 18:30
	真岡ウインドオーケストラ定期演奏会 (25日も) 真岡市民会館	

1 日	小山市交響吹奏楽団第32回定期演奏会	小山市文化センター大ホール 14:00
7 土 8 日	東関東バンドセッション	宇都宮市文化会館大ホール 10:00
6 日	三島中学校プラスバンド部・合唱部合同定期演奏会	西部須野町町民ホール 14:00
14 土	第32回宇河地区スクールバンドフェスティバル	宇都宮市文化会館大ホール 10:00
	足利市内高等学校合同音楽祭	足利市民会館大ホール
15 日	真岡高等学校定期演奏会	真岡市民会館
29 日	雀宮ユースバンド第20回記念定期演奏会	県総合文化センターサブホール